



現在、松阪市文化財センターで冬季企画展「まつさかのれきし、み~つけた!」を開催しています。その中からおすすめの展示物を2つご紹介します。

【とても珍しい家形埴輪】

右の写真の家形埴輪は、嬉野^{てんげいじ}天花寺町にある清水谷6号墳から出土したもので、非常に珍しい形をしています。一般的に「家形埴輪」といえば、屋根も壁も四角い形をしているのが特徴です。しかし、この清水谷6号墳から出土した家形埴輪は、屋根は四角い形をしているものの、壁部分が円筒埴輪のように丸くなっており、その構造は極めて珍しいものとなっています。また、この埴輪は、ほぼ完全な形で復元されました。屋根部分は「入母屋造」と呼ばれる伝統的な様式を感じさせるものです。さらに、壁には、入口や窓が表現されていると考えられる大小の2つの穴が開いています。



家形埴輪
清水谷6号墳出土
(嬉野天花寺町)



絵銭
新々田遺跡出土
(嬉野中川町)

【これはお金ですか?】

これは「絵銭」と呼ばれるもので、本物の銭貨を真似て作られた金属製品です。絵銭には、念仏や題目などの文字、大黒様などの絵がデザインされています。そのため、信仰の対象として使われたり、おもちゃとして遊ばれたりすることがありました。また、祝い事の際にまかれたり、メンコ遊びなどにも使われたと言われています。この絵銭には「南無阿弥陀仏」という文字が確認できるため、「念仏銭」と呼ばれることもあります。皆さん、この文字が読めますか?

展示会場では、ぜひじっくりとご鑑賞いただき、当時の人々の生活の様子を感じてみてください。この展示では、松阪の歴史や文化を体感しながら、昔の暮らしの息吹に触れることができます。皆さまのご来場をスタッフ一同、心よりお待ちしております! (担当)

【令和8年3月:松坂城跡の石垣】 ~所長からひと言~

お城の石垣を見ると、石の加工の度合いや積み方に違いが見られるのですが、これは石垣がつけられた時代によって異なります。

城に本格的な石垣が造られ始めた頃は、自然石を、その形を巧みに組み合わせて積み上げて、不規則ながらも安定した構造を作り出しました。それを野面積みと言い、頑丈で排水性に優れていますが、隙間がでやすく、敵に侵入されやすい欠点もありました。松坂城跡の天守台付近はこの野面積みですが、表門や裏門などの周辺部や本居宣長旧宅付近では、時代が下ったノミでの加工が多用された打込ハギや、切込ハギと言われる石垣を見ることができます。



松坂城跡天守台の石垣

文化財センター はにわ館&ギャラリー催し物予定

【はにわ館】 入館料110円 18歳以下無料 開館時間9:00~17:00 入館は16:30まで

- 第1展示室 常設展 「宝塚古墳の謎」
- 第2展示室 冬季企画展 「まつさかのれきし、み~つけた!」 ~最近の発掘調査成果から~
2月14日(土)~3月29日(日)

【イベント】

- ワークショップ 「色付き勾玉を作ろう」 ※事前申込不要
3月20日(金・祝) 第3G
午前:10時~12時 (受付時間 10時~11時)
午後:13時半~15時半 (受付時間 13時半~14時半)
・参加費:500円
・定員:各50人(先着受付順)
・その他:開催当日の受付時間内に、文化財センターまでお越しください。

【ギャラリー】 入場無料

- 第1~3G ◆令和7年度 公民館まつり 作品展示会
3月6日(金)~3月8日(日) 9時~16時
- 第2G ◆第14回四五百の森の拓本会拓本展示会
3月27日(金)~3月29日(日) 9時~16時 ※最終日は15時まで
< 3月の休館日 2日(月) 9日(月) 16日(月) 23日(月) 30日(月) >

【発行】松阪市文化財センター
【☎】0598-26-7330 文化財センターの情報はこちら →
【FAX】0598-26-7374
【HP】<https://www.city.matsusaka.mie.jp/site/bunkazai-center/>

